令和３年６月 20 日　現在

第 75 回全日本学生体操競技選手権大会
要　項

主催　全日本学生体操連盟

主管　東北・北海道学生体操連盟　　関東学生体操連盟　　東海・北信越学生体操連盟
　　関西学生体操連盟　　九州学生体操連盟

後援　公益財団法人 日本体操協会　　静岡県　　静岡市　　静岡県教育委員会
　　静岡市教育委員会　静岡県体操協会　静岡県スポーツ協会（公財）静岡市体育協会

協賛　セノー株式会社　　株式会社　ササキスポーツ　　株式会社　フォトクリエイト
　　株式会社　イーグル　　京王観光株式会社　　ミズノ株式会社
　　アトムスポーツ・アトム株式会社　　有限会社アイシス

１．期間

令和３年　８月３１日(火)　セッティング・２部校監督会議・２部校本会場練習
　　９月　１日(水)　２部校本会場練習、２部審判会議、開始式
　　２部校選手権（団体・個人・種目別）
　　２日(木)　２部校選手権（団体・個人・種目別）、２部校表彰式
　　１部校監督会議・１部校本会場練習
　　３日(金)　１部審判会議・１部校本会場練習
　　１部校選手権（団体・個人・種目別）
　　４日(土)　１部校選手権（団体・個人・種目別）・カッティング・閉会式

２．会場

会　　場　草薙総合運動場体育館（このはなアリーナ）
所 在 地　〒４２２－８００８
　　静岡県静岡市駿河区栗原１９－１
電話番号　０５４－２６１－９２６５

３．参加資格

（１）（公財）日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和３年度「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟（連盟登録）」を済ませた者。

（２）全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が４回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。

４．該当校および参加人数

（１）１部校該当校および参加人数

令和３年度の１部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に登録した大学。

（以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。）

チーム順位と個人の出場枠は、令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

（以下、チーム出場大学に割り当て個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

＜男子＞

・１部校チーム　12 校

・１部校チーム個人選手　42 名

１．日本体育大学	５名	７．福岡大学	３名
２．順天堂大学	５名	８．九州共立大学	３名
３．仙台大学	５名	９．日本大学	３名
４．筑波大学	４名	10．慶応義塾大学	２名
５．鹿屋体育大学	４名	11．駒澤大学	２名（１部昇格校）
６．早稲田大学	４名	12．東海大学	２名（１部昇格校）

＜女子＞

・１部校チーム　10 校

・１部校チーム個人選手　30 名

１．日本体育大学	４名	６．日本女子体育大学	３名
２．武庫川女子大学	４名	７．仙台大学	３名
３．筑波大学	４名	８．東京女子体育大学	２名
４．国士館大学	３名	９．中京大学	２名（１部昇格校）
５．順天堂大学	３名	10．東海大学	２名（１部昇格校）

（２）２部校推薦枠および参加人数

全日本インカレ予選会（東日本・西日本インカレ）の中止により、令和２年度の全日本インカレの推薦基準（令和元年度の競技成績による）、および、令和３年度の支部大会の成績等を用いて、以下の推薦枠を設ける。

①推薦チーム

令和２年度全日本インカレの２部校推薦枠での推薦チームで、令和３年度の各支部大会にチーム登録した大学。

チーム推薦順位、チーム個人選手は、令和２年度の全日本インカレと同様とする。

＜男子＞

・２部校チーム　15 校

・２部校チーム個人選手　18 名

１．静岡産業大学	２名	９．関西大学	１名
２．大阪体育大学	２名	10．天理大学	１名
３．新潟経営大学	２名	11．富山大学	１名
４．国士舘大学	２名	12．北翔大学	１名

５．明治大学　２名
６．国際武道大学　２名
７．東海大学九州　１名
８．中京大学　１名
13．法政大学（青森大学）　０名
14．至学館大学　０名
15．大阪産業大学　０名

＜女子＞

・２部校チーム　11 校
・２部校チーム個人選手　10 名

１．大阪体育大学　２名
２．日本大学　２名
３．静岡産業大学（慶應義塾大学）　２名
４．駒澤大学　１名
５．北翔大学　１名
６．至学館大学　１名
７．福岡大学　１名
８．国際武道大学　０名
９．明治大学　０名
10．大阪産業大学　０名
11．九州共立大学　０名

※青森大学（男子）および慶應義塾大学（女子）は、令和３年度の支部大会においてチーム登録がなかったため、推薦チームとはならない。
慶應義塾大学に割り当てられたチーム個人選手枠は、下記⑤の枠とする。

②推薦個人１（令和２年度の全日本インカレ推薦出場選手）

＜選考対象となる大会と成績＞

令和２年度の全日本インカレ

上記①の大学に所属せず、男子は 54.0 以上、女子は 34.0 以上獲得した選手

＜男子＞　・該当者　９名

１．竹澤興亮(3)静岡大　２．井関純也(4)明星大　３．大沼鼓太朗(3)千葉商科大
４．井田亮佑(4)大阪大　５．新保瑛大(4)東北大　６．山本雄大(4)大阪大
７．関口　源(3)立教大　８．加藤将太(3)立命館大　９．石井伸空(4)大阪工業大

＜女子＞　・該当者　７名

１．硯山莉穂(4)鹿屋体大　２．福岡由唯(4)慶応大　３．平居莉那(2)天理大
４．梶原かれん(4)関西学院　５．川﨑美穂(3)同志社大　６．成松実咲(4)大教大
７．石本彩夏(3)同志社大

③推薦個人２（令和３年度の各支部大会の上位者）

＜選考対象となる大会と成績＞

令和３年度の東日本グループ選手権、東海・北信越選手権、九州選手権

上記①の大学に所属せず、②以外の選手で、男子は 54.0 以上、女子は 34.0 以上獲得した選手

＜男子＞　該当者　１４名

１．村島周作(1)立教大　２．熊木　良(2)立教大　３．渡辺晃平(1)立教大
４．財部雄太(3)九州大　５．末野佑樹(4)明星大　６．岡本慎吾(4)東京大
７．安藤綺羅(2)茨城大　８．菊池　響(3)青森大　９．千葉　叶(3)専修大

10．日野竜彦(3)東工大　11．平井雄基(2)東京大　12．竹内佑斗(2)玉川大
13．安田詠司(3)茨城大　14．伊藤龍二(3)青森大

＜女子＞　該当者　９名

１．北野咲希(1)鹿屋体大　２．植村結衣(2)鹿屋体大　３．小坂茉優子(1)法政大
４．相澤麗奈(1)群馬大　５．石川美里(4)鹿屋体大　６．眞城有理子(4)千葉大
７．亀田雪乃(3)白鴎大　８．岡部智子(3)東京学芸　９．大石紗菜(4)九州大

④推薦個人３（令和２年度の関西支部大会の上位者）

＜選考対象となる大会と成績＞

関西学連主催の令和２年度の新人大会、および、セノーチャレンジカップ
（令和３年度の関西選手権が中止だったため）

上記①の大学に所属せず、②以外の選手で、男子は54.0以上、女子は34.0以上獲得した選手

＜男子＞　該当者　４名

１．香賀寛弥(3)大阪大　２．玉井　優(3)神戸大　３．岡谷嶺央(3)大阪大
４．西川寛人(3)立命館

＜女子＞　該当者　２名

１．辻　日向子(3)大阪教育大　２．吉池香南子(2)関西大

⑤推薦個人４（特別個人推薦選手）

コロナ禍の感染防止対策によって、令和３年度の各支部大会（③の大会、および、中止となった関西選手権）に出場できなかった選手のために、特別個人推薦枠を設ける。

＜推薦の条件＞

(1) 令和３年度の各支部大会に登録をしたが出場できなかった選手、または、所属大学の指示等により登録ができなかった選手

(2) 上記①の大学に所属せず、②～④以外の選手で、加盟校より推薦された以下の条件に当てはまる選手

＜男子＞　個人総合得点54点以上の選手　　名

＜女子＞　個人総合得点34点以上の選手　　名

＜選考対象となる資料＞

令和元年度から３年度までの競技会（学生選手権等・高校選手権）の得点（公式速報）
（学生選手権等：各支部大会以上の大会・国体予選以上の大会）
（高校選手権：インターハイ・国体・高校選抜大会）

※申請された得点については、適用ルールを考慮して序列をつける。

※推薦人数枠は、男子９名、女子14名以内とする。

※申請書類は、全日本学連のＨＰよりダウンロードして作成すること。

※申請書類は、「選考資料」とともにメール添付で全日本学生体操連盟に送信すること。

※申請書類の締切りは、６月25日（金）とする。

※推薦資格について確認の必要がある場合は、本部まで問い合わせること。

⑥出場確認・出場辞退等について

参加予定校・予定個人選手に対して、６月中に参加の可否を確認する。

①～④で出場辞退者が出た場合、⑤の推薦人数枠を増やすことがある。

５．種目別選手権 決勝 について

本大会では実施しない。

６．補欠について

（１）各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない（7.（2）（3）（4））。なお、補欠として大会期間中に会場に入場できる者（ＩＤが配布される者）は、各チーム２名までとする。

（２）２部校の推薦個人選手は、個人としての参加資格を有しているため、補欠は認めない。

７．選手変更・棄権について

（１）選手変更・棄権の申請は、監督会議開始前までに所定の用紙（メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙）で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。

（２）チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。

（３）競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、ＩＤ申請用紙に記載された選手名のみとなる。

（４）選手のゼッケンについては、チーム６人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

８．競技方法について

（１）適用規則

・FIG 競技規則に準ずる。

〈男子〉

２０１７年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

〈女子〉

２０１７年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

※新技申請については、各監督会議前までに所定の用紙にて受付に提出すること。

（２）チーム編成について

・チーム編成は各大学単位とし、各校１チームとする。

・１・２部校男女とも、１チームは最大６名（最小５名）とする。

（３）順位の決定

・団体総合選手権：各種目上位５名の得点の総合点で競う。

・個人総合選手権：全種目の総合点で競う。

・種目別選手権：各種目の得点で競う。男女ともに跳馬は１試技の得点とする。

※　０点は棄権ではなく得点として扱う。

（４）班編成および開始種目

・１部校：令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

・２部校：今大会の推薦順位により決定する。

（５）器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（セノー社製)。

９．表彰

＜１部校＞

（１）団体総合選手権の部	男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
	女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
	優勝旗、優勝杯、メダル１～３位、賞状１～８位
（２）個人総合選手権の部	楯１～３位、賞状１～８位
（３）種目別選手権の部	メダル１～３位、賞状１～８位

＜２部校＞

（１）団体総合選手権の部	優勝杯、メダル１～３位、賞状１～８位
（２）個人総合選手権の部	楯１～３位、賞状１～８位
（３）種目別選手権の部	メダル１～３位、賞状１～８位

※　１・２部校とも、同点は同順位として表彰する。

１０．帯同審判員派遣について（１部校と２部校の帯同審判員は分ける）

（１）チーム参加する大学は、下記の１種審判有資格者の帯同審判員を派遣しなければならない。また、男子は、可能な限り、カテゴリー２以上の審判員を派遣する。帯同審判員はそれぞれ、１部校または２部校の審判業務を行う。

＜１部校＞

・男子（計 24 名）：１～12 位校 各２名

・女子（計 16 名）：１～６位校 各２名　７～10 位校 各１名

＜２部校＞

・男子（計 23 名）：推薦チーム ① の１～８位校 各２名、９～15 位校 各１名、

・女子（計 15 名）：推薦チーム ① の１～４位校 各２名、５～11 位校 各１名

（２）帯同審判員に対する費用は、派遣する大学が全て負担しなければならない。

（３）学生を帯同審判員として派遣することもできる。

（４）審判員を派遣できない大学は４０，０００円をもって大会本部に依頼すること。

（５）(公財) 日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。

（６）大学指導者（部長、監督、コーチ）を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み１次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。

（７）審判編制は、その全てを大会本部に一任すること。

（８）帯同審判員を派遣できない大学があった場合、審判員が不足することが考えられる。そ

のため、派遣する審判員が２部校・１部校ともに審判業務をできる可能性がある場合は、参加申込書にその旨を記入してもらい、必要に応じて２部校・１部校両方の審判業務をお願いすることもある。なお、その際に生じる宿泊費等の費用（両方の審判業務を行うことによって追加される費用）は本部が負担する。

１１．補助役員について（１部校と２部校の補助役員は分ける）

（１）男女共、本大会にチーム出場する大学（１部校・２部校）は２名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。

（２）補助役員を派遣できない大学は、１名につき１５，０００円をもって大会本部に依頼すること。

（３）派遣された補助役員は、それぞれ部別の競技運営に必要な業務を担当する。
（２部校派遣補助役員：セッティングから２部校競技終了まで）
（１部校派遣補助役員：１部校本会場練習からカッティングまで）

１２．部別昇降について

（部別昇降については、現在検討中であるため、後日、通達する。）

１３．その他

（１）競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は、監督会議以降は競技区域には入ることは出来ない。
また部長、監督、主務は競技中の競技区域に入ることは出来ない。なお、音楽係のＩＤ保持者は音楽席のみで活動出来る。
個人で編成される班（個人総合・種目別選手権）でのコーチの人数は、各種目（組）につき、一大学４名以上は２名のコーチ、３名以下は１名のコーチとする。ただし、女子の一大学３名以下の組に限り、段違い平行棒コーチを１名追加できるものとする。
※今大会では感染防止の観点から、会場への入場者数をできるだけ制限したい。ＩＤは例年通りの人数分を申請できるが、選手以外のＩＤ保持者（コーチ、部長、監督、主務等）は可能な限り兼務するように各大学に協力をお願いしたい。
※　ＩＤ保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

（２）トレーナー申請を希望する大学はＩＤ申請書にあるトレーナーの欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。
※トレーナーの申請人数は男女とも各１名とする。
※メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。

（３）音楽の再生機器は各大学で準備すること。

（４）セッティング・カッティングは必要最低限の人数枠を定め、各大学にその人数を配分する。原則として、セッティングは２部校の参加校、カッティングは１部校の参加校とするが、各大学から協力してもらう人数に関しては、競技部報掲載時に連絡する。なお、

参加出来ない場合は所定の用紙に理由を書いて、大会申し込み１次締め切りの書類と合わせて提出し、許可を得ること。大会の円滑な運営のため、各大学に協力を願いたい。

（５）会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。

（６）大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を大学受付時までに提出すること。

（７）開始式は、２部校①班の選手のみの参加とする。２部校表彰式、および、閉会式（１部校のみ）は、表彰対象となる選手のみの参加とする予定である。

（８）新型コロナウイルスの状況によっては要項内容を変更する場合がある。

１４．感染防止に対する特別措置

（１）本大会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、２部校と１部校の競技日程を分けて実施するように計画されている。

（２）応援・観客の動員に関しては、新型コロナウイルス感染防止を考慮した適正な範囲に留める。基本的には「無観客」で実施する方向で検討中である。現時点では、観客席に入れるのはＩＤ保持者（選手・コーチ・関係者 等）のみで、さらに、それぞれの部別の競技のみを観戦できる予定である。詳細については、競技部報掲載時に連絡する。

（３）感染防止に対する具体的ガイドライン等は、後日通達する。

（４）「感染拡大防止ガイドライン」を遵守し、感染拡大防止に係る必要書類を提出した者。ガイドラインを遵守する者だけが、大会に参加することができる。

１５．参加申し込みについて

（１）参加費

１チーム	６０，０００円
個人（１名につき）	１２，０００円
帯同審判委員依頼費（１名につき）	４０，０００円
補助役員依頼費（１名につき）	１５，０００円

※例年、徴収していた「保険料・救護費」については、参加費に含める。

（２）ＨＰ上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメール又は郵送にて申し込むこと。

・参加申込用紙

・ＩＤ申請用紙

~~・撮影申請用紙~~（撮影申請については、後日、通達する）

・プログラム用コメント用紙

（３）締め切り期日

１次締め切り

(参加申込用紙)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７月６日（火）１８時必着

最終締め切り

（ＩＤ申請用紙、~~撮影申請用紙、~~

プログラム用コメント用紙)・・・・・・・・・・・・７月２０日（火）１８時必着

ＨＰ 部報掲載予定日・・・・・・・・・・・・・・・ ８月３日（火）

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

（４）参加費は、本部所定の銀行へ１次締め切りまでに必ず、大学名（男女別）で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク　　男子→ダンガクレンダイガク

（５）参加費振込先

三井住友銀行　渋谷支店　　店番号６５４

普通口座番号　９１６７０６０

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：小賀坂　楓

（６）締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。

（７）申し込み・問い合わせ先

〒１６０－００１３

東京都新宿区霞ヶ丘町４－２　８階　（公財）日本体操協会気付

全日本学生体操連盟　第７５回体操競技全日本インカレ大会宛

ＦＡＸ　　０３－６４５５－４０３８

Ｅ-mail　　gymgakurenn@yahoo.co.jp

ＨＰ　　http://gymgakurenn.noor.jp

担当者　　（男子）湯川　晋乃介（女子）羽山　千咲

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種 目 別 選 手 権	同点は同順位として表彰する。

②通過及び部別昇降に関する順位付けについて

団　体　選　手　権	・　全種目（男子６種目、女子４種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子５種目、女子３種目）の得点の合計が高いチーム。 ・　それでも同点の場合は２種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子５種目、女子３種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・　すべての種目の得点が同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。
個 人 総 合 選 手 権	・団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。 ・すべての種目の得点が同点の場合は、Ｅスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はＤスコアの合計点の高い者。
種　目　別　選　手　権	・Ｅスコアの高い者。 ・それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。